

## 経営革新グリーン分野進出支援事業補助金の採択事例・想定事例

### 【輸送・製造関連産業】

(網掛けが採択事例、他は想定事例です)

#### ⑤自動車・蓄電池

進出後の業種	補助事業の概要・想定事例	補助対象経費
製造業	電気自動車の自動運転認識システムに使用する部品製作に必要となる測定機を導入し、測定精度を向上させる。	測定機
製造業	電気自動車のパワーモジュール用部品に使用する基板の製造を開始する。	プレス加工用機器
製造業	顧客からの引合に対応し、新たに個体酸化物型燃料電池(SOFC)の部品製造に進出する。	立型マシニングセンター
製造業	最新の設備を導入し、燃料電池自動車（FCV）用部品の開発・量産化に取り組む。	

#### ⑥半導体・情報通信

製造業	高精度加工による次世代パワー半導体の部品製造へ新分野展開する。	自動制御プレス加工機
製造業	新設備を導入してアルカリイオン水をクーラント水として用いる研削を行い、洗浄不要の部品を供給してこうした要請に対応する。	
製造業	次世代パワー半導体向け表面処理装置の開発製造による新分野展開	
製造業	機械器具製造で培った技術を活かし、パワー半導体製造に欠かせないSiC（シリコンカーバイド）等の硬脆性材料を精密切断する加工機（ワイヤーソー）の本体フレームおよび部品製造により半分やへの展開を図る。	
製造業	超微細加工機を含む加工ラインを新設して次世代パワー半導体製造装置部品の加工事業へ展開する。	
製造業	既存顧客からの引合に対応し、新たに両面プリント配線基板の製造に取り組み情報通信インフラの省エネ化・高性能化に寄与する。の実現を目指す。	
製造業	大容量高速通信の普及とデータセンターの増加を見据えて、超小型サイズ・100MHz超対応の水晶クロック発振器の開発・製造に取り組む。	

## ⑦船舶

製造業	現在大手造船メーカーが試作開発を行っている水素燃料電池船の部品製造へ新事業展開する。	ロボドリル
製造業	燃焼してもCO2を排出しないアンモニアを燃料とした船舶向け補助ボイラー用バーナーを開発する。	
製造業	次世代船舶エンジンとして注目されているアンモニア燃焼エンジンのステンレス製精密配管の製造への進出により新事業展開を図る。	
製造業	アンモニアや水素燃焼等次世代船舶用エンジン向け超精密バルブ製造事業へ進出。	
製造業	すでに引き合いが来ているLNG船舶部品の製造・販売に取り組む。	

## ⑧物流・人流・土木インフラ

運送業	ドローンを活用した持続可能な医薬品等配送へ新分野展開する。	ドローンほか
運送業	水素燃料電池ドローンを利用した長距離物流事業と関連事業を展開する。	ドローンほか
サービス業	ダンボール配送に代わるカセット輸送・配送システムを開発、グリーン物流サービスを構築して物流システムの変革を促す。	
その他のサービス業 (自動車整備業)	電動車の整備に進出する。まずEVの整備に取り組み、その後HV、PHV、FCVへの整備へと展開する。ASVのイーミングに取り組みするためにスキャンツール等の設備を導入し、従業員に対して電子制御装置整備の整備主任者等資格取得も進める。	

## ⑨食料・農林水産業

飲食業	自社農場での野菜栽培を有機農業へ転換し、外部調達した有機飼料使用の肉や有機麺を使用して調理した焼きそば専門店を展開する。
農業	自社から出る廃棄物を活用した有機肥料の開発・製造・販売に取り組み、持続可能な循環型農業の確立に貢献する。
林業	未利用材の有効活用として切削チップを製造し、バイオマス発電用チップとして販売する。

### ⑪カーボンリサイクル・マテリアル

サービス業	大規模工場に持ち込むことなくビルの解体現場等でコンクリートのリサイクルを行う。
製造業	食品の残滓を触媒技術と炭素化装置で植物由来のカーボン素材にリサイクルし、炭素繊維等へ再利用する。
製造業	創業以来継承してきた紡績技術を活かして炭素繊維による糸の開発・製造に取り組む。